



# 玉名ロータリークラブ週報

2018  
2019



インスピレーションになろう

R I 会長	■	バ	リ	ー	・	ラ	シ	ン
地区ガバナー	■	高	山	泰	四	郎		
会長	■	本	田	正	美			
幹事	■	田	中	雄	三	郎		
公共イメージ向上・IT委員長	■	西	嶋	興	生			

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内  
TEL(0968)73-8888 FAX(0968)73-8008

事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102  
TEL(0968)73-3399 FAX(0968)74-3939

平成 31 年 1 月 17 日 No.2418

玉名 R C メールアドレス [jimu@tamanar.club](mailto:jimu@tamanar.club)

ホームページ <http://tamanar.club>

## 【来訪者紹介】

尾池 千賀子氏

熊本産業保健総合支援センター

「働き方改革、治療と仕事の両立支援

従業員さんが病気・ケガで仕事を

辞めずにすむ!？」



## 【会長の時間】 吉永直前会長

今日は、本田会長が欠席なので代行で会長の時間をします。玉名では今話題の金栗四三大河ドラマ館は行かれましたか？年間来場者目標は30万人です。

1日1000人は来ないとですね。鹿児島島の西郷どん館が50万人で12月に達成したそうです。5月連休前から賑わいだし、ピークは8月だそうです。是非、みなさんもいかれてください。また和水の金栗四三ミュージアム、生家、玉名小田の住家もオープンしています。私はオープン前に見てきましたが、オープン前に観光客が見に来ていました。ただ道が狭いので



大型バスは大変かもしれませんね。大河ドラマで玉名にたくさんの方が来てくれるとうれしいですね。

### 【幹事報告】 田中幹事

○熊本菊南 RC より例会変更がきています。

日時：平成 31 年 2 月 6 日（水） ⇒ 平成 31 年 2 月 10 日（日）  
熊本第 2 グループ IM に変更

平成 31 年 2 月 13 日（水） ⇒ 休会（祭日週の為）

○玉名青年会議所より、新年度祝賀会のお礼が来ています。

○IM の出席表を回覧していますので出席の方お願いします。

○ロータリー手帳購入される方は、回覧しますので○印をお願い致します。

### 【出席スマイル報告】 大石委員長

吉永前会長・田中幹事・・・尾池千賀子様の卓話ありがとうございます。インフルエンザが流行しています皆様体に気をつけてお過ごし下さい。

本田会長より、風邪でお休みさせていただきます。

鶴田さん・渡邊太さん・吉田光さん・井上さん・吉岡さん・坂梨さん・松崎さん・

堀本さん・吉田彰さん・浅地さん・小山さん・田原さん・村上さん・広瀬さん・

福田さん・・・尾池千賀子様のご来訪心より歓迎致します。

古賀さん・・・申し訳ありません欠席します。

前回までの累計 ￥495, 000

今 回 ￥30, 000

合 計 ￥525, 000

本日の出席	会員数	53 (49) 名	欠席者	深見 本田 浜田 平田 古賀 児玉 宮本浩 村田 前田 中嶋 野田 西嶋 西田 小関 志賀 品川 上村 上田継 山田勝 山村
	出席数	29 名		
	出席率	59.18%		
前回の出席	前回出席数	37 名	前回のメイクアップ	吉田彰 西田
	修正出席数	39 名		
	修正出席率	79.60%		
出席規定適用免除者		6 名		

## 【委員会報告】 村上委員長

会計の方から会費納入についてです。昨年末に年会費の納入の件を言いましたが、さっそく31名の会員にお納めいただきました。おかげさまで7割近くの方が終わられています。ロータリーの三大原則の中に会費の納入が含まれています。ここをしっかりとご理解いただき、まだの方はご対応のほど、よろしくお願い致します。



## 【今後のプログラム予定】

1月24日(木) 特別養護老人ホーム 有明ホーム 副施設長 丸山義行氏  
テーマ「社会福祉法人が取り組んでいる地域貢献活動について」

## 【本日のプログラム】

尾池 千賀子様 卓話  
熊本産業保健総合支援センター  
「働き方改革、治療と仕事の両立支援  
従業員さんが病気・ケガで仕事を  
辞めずにすむ!？」

熊本産業保健総合支援センター産業保健専門職の尾池千賀子です。私は生まれも住まいもここ玉名なんです。なのでたいへんうれしく思います。本日は先般の働き方改革の重要課題の一つとなっております、「治療と仕事の両立支援」について話をさせていただきます。



(独)労働者健康安全機構 熊本産業保健総合支援センター  
熊本市中央区花畑町 9-24 住友生命熊本ビル 3階  
電話 096-353-5480 FAX 096-359-6506  
<https://www.kumamotos.johas.go.jp/>

熊本産業保健総合支援センターでは  
「職場における心の悩み相談窓口」を  
開設しています。

リストラの増加・労働環境の急激な変化で  
職場におけるストレスは増加しています。  
厚生労働省の調査では、うつ病・うつ状態の  
労働者の数は増加傾向にあるとのことです。

このような状況のなかで、当センターにおい  
て「職場における心の悩み相談窓口」を開設  
しております。職場の人間関係に起因する悩  
みごとや労働者ご本人の職場における悩みごと  
など、働いていく上で気になる心の悩みに対応します。



#### 治療と仕事の両立支援とは？

病気を抱えながらも、働く意欲・能力のある労働者を支援するために

- ・仕事を理由として治療機会を逃すことなく
- ・治療の必要性を理由として職業生活の継続を妨げられることなく
- ・適切な治療を続けながら、いきいきと働き続けられる社会を目指す取り組み  
を目指しています。

#### 治療と仕事の両立支援はなぜ必要か？

- ・生涯のうち今や二人に一人ががんに罹りますが  
治療技術の進歩でかつては「不治の病」とされ  
ていた病気も生存率が向上し、「長く付き合う  
病気」になってきました。
- ・病気になった人も、92.5%の人が働きたいと  
思っています。
- ・しかし一方で3割の方がいったん離職をされます。  
さらに離職をされた方の4割がまだ治療も開始さ  
れていない段階で離職をされているという現実が  
あります。



ご本人やご家族の方はがんになったからといって、がんのイメージに惑わされないことです。  
すぐに仕事を辞めてしまわないように、意識を改めていただけたらと思います。

事業者にとってはどんな意味があるのでしょうか。

- ・総務省年報によると15～64歳の生産年齢人口は今後、大きく減少していくという試算です。
- ・一方で働く世代のがん患者数は増加してきています。

- ・人手不足、労働力確保の観点からも重要です。

今後、事業者として必要になることとして

- ・平成28年2月に厚生労働省から「ガイドライン」が発表されました。  
この中には企業に必要な取り組みがまとめられています。
- ・これをうまく進めるためのヒントは、◎環境整備（制度づくり）◎具体的な支援（体制づくり）◎「相談・申出」をしやすい風土づくりにあります。

事業者の方が得られる支援として

- ・助成金を活用して専門人材を配置→休暇制度を取り入れるなどで助成金も活用できます。  
これは新たに採用するのではなく、勤務されている社員さんが研修を受講することで配置が可能です。当センターでも開催しておりますので、ホームページ等でご確認ください。
- ・また外部専門家を活用する方法もあります。  
熊本産業保健総合支援センターをご活用ください。

熊本産業保健総合支援センターは、両立支援以外にも、産業保健に関する相談対応や個別訪問、専門的研修やセミナー、メンタルヘルス対策支援など原則無料で行っております。どうぞお気軽にご相談、ご活用ください。詳細は、当センターのホームページまたはお電話でご連絡ください。

(独)労働者健康安全機構 熊本産業保健総合支援センター <https://www.kumamotos.johas.go.jp/>

独立行政法人 労働者健康安全機構  
熊本産業保健総合支援センター

TEL.096-353-5480 ▶ お問い合わせ

HOME ご利用案内 お役立ち情報 書式・資料 センター紹介 リンク

産業保健に関する知識

●●●●●

- ご利用案内  
相談費やご利用時間、窓口
- お役立ち情報  
産業要名簿や各情報
- 書式・資料  
各書類のマニュアルや書式、検討など
- センター紹介  
当センターの概要や業務のご案内
- リンク  
関係団体などへのリンク集
- お問い合わせ  
ご相談・お問い合わせ